

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月24日

計画の名称	ハード・ソフト一体的な対策による氾濫リスクの緩和および河川管理施設等の老朽化対策（防災・安全）緊急対策												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	秋田県,三種町,大館市												
計画の目標	近年、床上浸水被害が発生している地域において、ハード・ソフト対策を一体的に実施し、氾濫リスクを緩和することを目的とする。 また、河川管理施設等の長寿命化計画の策定及び老朽化の進行等により機能が低下した河川管理施設等の更新又は点検等の実施による改善措置を講ずる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,586	A	4,586	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	【家屋浸水リスクの緩和】最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練を実施した市町村の割合 最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練を実施した市町村の割合	0%	0%	100%
2	【家屋浸水リスクの緩和】洪水被害が多発している都市近郊河川の浸水被害を解消させる。浸水被害解消面積 A=11ha 河川改修等により、浸水被害が解消される面積（対象区間の想定氾濫区域を整備延長比により換算した面積） (浸水解消面積) = (想定氾濫面積) × (H28-H32整備延長) / (全体計画延長)	0ha	5ha	11ha
3	【河川管理施設等の老朽化対策】個別施設ごとの長寿命化計画の策定率 個別施設ごとの長寿命化計画の策定率	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	特構(1)	-	特定構造物改築事業	長寿命化計画策定、健全度調査	秋田県内						414	-	
	A03-002	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	広域河川(2)	-	三種川広域河川改修事業	用地買収、護岸(L=500m)、築堤・掘削(L=400m)	三種町						1,240	-	
	A03-003	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	広域河川(1)	-	支川下内川広域河川改修事業	築堤・削掘(L=900m)、取水堰1基	大館市						908	-	
	A03-004	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	広域河川(1)	-	芋川広域河川改修事業	掘削・築堤(L=1,600m)	由利本荘市						756	-	
	A03-005	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	流対河川(1)	-	斉内川流域治水対策河川改修事業	橋梁(1橋)	大仙市						310	-	

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
河川事業	A03-006	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	流対河川(1)	-	新城川流域治水対策河川改修事業	掘削(L=200m)	秋田市						551		-
	A03-007	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	流対河川(1)	-	支川太平川流域治水対策河川改修事業	掘削(L=100m)、橋梁(1橋)	秋田市						125		-
											小計						4,304		
その他総合的な治水事業	A08-008	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	-	-	米代川圏域総合流域防災事業(福土川)	掘削・築堤(L=200m)	鹿角市						282		-
											小計						282		
											合計						4,586		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
河川事業	C03-001	河川	一般	三種町	直接	三種町	-	-	洪水ハザードマップ策定 事業	洪水ハザードマップ作成	三種町							0	-	
		河川事業によるハード対策には相当の期間を要することから、沿川住民の安心安全確保のため、洪水ハザードマップの作成によるソフト対策を行う。																		
	C03-002	河川	一般	大館市	直接	大館市	-	-	洪水ハザードマップ策定 事業	洪水ハザードマップ作成	大館市							0	-	
		河川事業によるハード対策には相当の期間を要することから、沿川住民の安心安全確保のため、洪水ハザードマップの作成によるソフト対策を行う。																		
											小計						0			
											合計						0			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
定量的指標に基づき、計画策定主体（秋田県建設部河川砂防課）で事後評価。	令和5年3月
	公表の方法
	秋田県ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本交付金により計画的に河川改修を推進したほか、床上浸水対策特別緊急事業や災害復旧助成事業を並行して実施し、浸水被害面積を目標以上に解消することができた。 ・河川管理施設（樋門・樋管・水門）の長寿命化計画を令和元年10月に策定済み。 ・令和2年度末までに8市町村において最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成し、5市町村においてこれを踏まえた避難訓練を実施している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・近年洪水被害実績のある河川のほか、甚大な被害が予想される都市河川等を優先し、計画的に河川改修を進める。 ・河川管理施設等長寿命化計画に基づき、コスト縮減・予算の平準化を図りながら、引き続き施設の更新等に取り組む。 ・住民避難に活用されるよう、浸水想定区域図作成河川を大幅に増加させる。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	防災意識向上の訓練実施市町村割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	28%
関係者が多岐にわたる防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調整が困難となり、実施できなかった市町村があった。		
2	浸水被害解消面積（換算）	
	最終目標値	11ha
	最終実績値	31ha
床上浸水特別対策事業（三種川）や大規模特定河川事業（斉内川ほか）の活用による集中的な投資により、早期の事業効果発現を達成することができた。		
3	河川管理施設長寿命化計画策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%